



## 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
URL:<http://www.mokusankyo.com>  
E-mail:[yamawood@mokusankyo.com](mailto:yamawood@mokusankyo.com)

- |    |                  |                 |
|----|------------------|-----------------|
| 目次 | 1 地域材の普及啓発を連続展開！ | 6 お知らせ・会議・イベント等 |
|    | 2 庄内の地域組合の活動     | 7 8 月期住宅着工状況    |
|    | 3 木質バイオマス発電事情    |                 |
|    | 4 新組合員の紹介        |                 |
|    | 5 トピック           |                 |

緑の募金(企業募金)に協力しよう!!  
税制上の優遇措置もあるよ!!



## 1 木材の普及啓発の取組を連続して展開！！

4 月からスタートした「木造住宅等地域材利用拡大事業」は、事業期間の 10 月末に向けて、急ピッチで取り組みが進められている。

これまでにない規模と総合的視点からの地域材の普及啓発の取組であり、関係各位のご協力の下、ほぼ予定どおりの進捗状況となっている。最近の取組について紹介する。

### (1) 県産木材製品展示会等

若者たちの集客が多い郊外型ショッピングセンターにおいて、一定期間、県産木材製品をはじめとした展示会を開催すると共に人気コメディアンが勧める「木のある暮らし」フェスティバルを開催し、大勢の県民の方に木材の良さについて PR を行なった。8 月は三川町イオンモール、9 月は山形南イオンモールでそれぞれ 1 週間実施。展示には組合員等 10 社参加。コメディアンは「テツ&トモ」。長井市のけん玉プロジェクトも参加。

### (2) 木と生きるシリーズ第 3 弾 (山形新聞への広告掲載)

県内の木材関係者の優秀な技術や業務内容を取り上げ、身近なところに全国レベルの方が存在していることを認識していただく企画。第 3 回は「木質バイオマスの熱利用」に関して (9 月 26 日山形新聞朝刊) 3 事業体を紹介した。第 4 回 (最終) は、県産材充実の時代を迎えて、素材生産事業体の創業や、他分野から新規の参入、さらに農業大学校への林業関係学科の設置等、林業・木材業を地域の主産業とする動きを特集する。

### (3) TV 番組「暮らしの中に木を使おう！～やまがたの木に包まれて～」

9 月 26 日 (土) に放映された。伐採から製材、市場、プレカット、伝統的住宅建築、高次加工やチェーンソーアートに及ぶ、県産木材の PR 番組であり、幅広い内容を網羅し、関係者も多数出演する等大きなインパクトがあった。全国的に DVD を配布する計画。

### (4) 地域材を使った家づくりパンフレットの制作、配布

地域材を活用した各地域のモデル的住宅について関係事業体 10 社からご協力をいただき、特長ある住宅パンフレットを作成した。10 月の林業まつり等で広範に配布。

### (5) 県林業まつり等への県産住宅構造躯体の展示等

10 月 17 日～18 日の林業まつり、24～25 日の県環境展において、県産木材を活用した構造躯体を数棟展示するほか、木材クイズや木工体験、住宅相談等も実施する。

### (6) 県地域材利用推進協議会の開催

11 月 5 日これら取り組みの総括について標記協議会を開催し事業を完了させることにしている。昨年度の補正事業であり、半年の間に行う必要があったが、関係各位の協力を得ることができた。次年度の取組に繋げていきたい。

## 2 庄内地方における地域組合の活動について

木産協酒田飽海支部では、8月3日、20日、24日、それぞれ酒田市、遊佐町、庄内町に対して「木材産業振興に関する要望書」を提出し、地域木材業に対する振興支援と、各自治体の事業計画物件への地域材利用促進に特段のご配慮並びに地域産業界として具体的な提案の場の設置などについて要望活動を行った。

同要望活動は、県木産協酒田飽海支部(支部長・阿部昭氏)、酒田木材工業団地(協)(理事長・高橋健一氏)、(協)やまがた木乾燥センター(理事長・黒沼亨二氏)、出羽庄内森林組合(代表理事組合長・菅原勝氏)の4団体が、各自治体の状況を踏まえて合同実施したもの。

要望書はつぎのとおり。

【文責:酒田飽海支部事務局長 長南伸一】

### 木材産業振興に関する要望書(酒田市)

木材産業振興につきましては、日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

市におかれましては、「酒田市住宅改善資金貸付」、「公共施設の木造化等推進」、「間伐材の利用促進」など、様々な地域材利用促進対策を積極的に推進されておられますことに心より感謝申し上げます。

さて、林業施策全般については、国の森林・林業再生プランや公共建築物等木材利用促進法の施行など、国産材利用促進にむけた環境は着実に整備されつつあります。また、酒田市は合併を契機とした森林面積が全体の60%を超える規模となりました。この酒田地域の豊富な森林資源は利活用できる成熟期を迎えており、さらには地産地消の運動も盛んに叫ばれています。しかしながら、木材価格の低迷等市内木材業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況を打開し、木材産業の活性化を図るためには、森林資源を核とし、川上から川下まで一体となった循環型社会の構築と、需要動向に即応した新たな高品質木材の安定供給体制の確立が、きわめて重要であると考えております。我々木材・製材業界といたしましても、活性化に向けて自助努力する所存であります。

特に、今年度事業の下記物件については、さらなる市産材利用促進に特段のご配慮をお願いいたします。

#### 記

##### 【事業計画物件】

- 市役所、斎場、中町プラザ改修
- 亀ヶ崎学童保育所、平田保育園増築、鳥海八幡中学校道場増築
- 松境アパート改修、各防災関係施設改修

### 庄内地域の他町への要望活動における項目のみを紹介します。

##### 【事業計画物件】(遊佐町)

- 西遊佐まちづくりセンター改築
- 各防災関係施設改修

##### 【事業計画物件】(庄内町)

- 町役場本庁舎の整備事業
- 農産物交流施設の整備事業
- その他貴町で予定されている整備事業

**次年度に向けて、県内の各地域組合も要望活動を展開しよう!!**

### 3 動き出すバイオマス発電等の計画と木産協組合員の取り組み動向

#### (1) 木産協素材生産部会としての対応

木質バイオマス発電計画が急ピッチで動きだしている。現在 10ヶ所近い発電事業が計画されており、これらに対する、C・D材の供給について様々懸念されている。

現在稼働中のもの、間もなく稼働するもの、事業の認可申請に入ったもの、これから認可申請のための取りまとめを行うもの等、進捗の度合に幅があり、資源活用と地域振興の立場からは、先に木産協にオファーがあったものから協定等を取り結ばざるを得ない状況となっている。協定は事業認可に必要な供給体制を裏付けるものであると共に努力目標でもある。

地域資源を背景としたバイオマス発電所の適正配置等については、行政に仕切っていただきたいところだが、自由競争の建前から、それはできないということであった。

また、全国的には計画段階から実現にこぎつける割合は、極めて低いと聞いている。

9月17日に開催した合法木材研修会終了後に、山形市内において、主要な素材生産関係組合員が、これらバイオマス発電や大型集成材工場への対応について意見交換を行った。なお、この会合では、木産協組合員の中で直接バイオマス発電の主体となるメンバーは外れられていた。

この会議では、状況がまだ不透明の中で、木産協としてはこれまでどおり結束を強め、原則的に一本化した対応を行うことを確認している。また他団体との連携についても、それぞれの置かれている立場や環境を尊重する姿勢で臨むことにしている。

#### (2) 木質バイオマス発電等の大型工場の設置計画の動向

	地域	名称	摘要(限られた情報なので、進展している場合があります)
1	庄内地域	鶴岡バイオマス発電	2,500kw、間伐由来材約3.5万t予定、2015秋口試運転、木産協は間伐由来材1万t/年(着値5千円/t)、製材端材5千t/年の協定締結(それぞれ努力目標) 木産協は同発電の協議会構成員で負担金あり(年間8万円)
2	〃	住商バイオマス発電(仮称・酒田市)	10月1日付け山形新聞で発表された。5万kw予定、輸入ペレットや石炭等と併せ、間伐由来材等の地域材を10万m <sup>3</sup> 程度取り入れる計画という。
3	最上地域	もがみ木質バイオマス発電所	約6,000kw、間伐材由来約7万t使用、2018稼働予定、申請準備中
4	〃	Z Eデザイン(最上町)	1,000kw、間伐由来材約1万3千t、ガス化発電方式、2016.10より発電予定
5	村山地域	やまがたグリーンパワー(株)	2,000kw、間伐材由来約2万t、唯一の稼働発電所、木産協は1,000t/年を協定予定、他木産協組合員納材を実施。
6	〃	山形バイオマスエネルギー	2,000kw、山形環境荒正、城南木材市場、山形地方森林組合等が共同出資、間伐等由来材3万t、2018頃稼働
7	置賜地域	やまがたグリーンパワー(株)	1,990kw、間伐由来材2万t、5,500円/t(含水率55%)申請に向け準備中、2018頃試運転予定。木産協に協定の締結要請あり。
8	〃	DSグリーン発電米沢合同会社	6,250kw、間伐由来材約2万7千t、原木工場着値7,000円/t予定、試運転2017.7、不足分PKS使用 木産協として5,000t/年協定締結(努力目標)

## 4 新組合員の紹介

### (1) マルカ林業株式会社 (新庄市)

代表取締役 柿崎 和朗

マルカ林業株式会社と申します。この度は、山形県木材産業協同組合への加入申請を認容していただきまして、誠にありがとうございました。

弊社は昭和23年創業以来、主に弊社管理の広大な山林の植林・下刈り・間伐・皆伐・保育等を行ってきました。

近年は、木質バイオマス燃料の市場等、木材の有効活用が重要視されています。しかし、その反面、林業従事者の高齢化や担い手不足、また林業の低迷が懸念されています。

このような状況の中、長年培ってきた弊社の林業技術を十分活用して、林業の活性化や担い手の育成に尽力する所存です。

- 【経営理念】
- 1 森林資源(間伐材・林地残材等)の有効活用
  - 2 林業を活性化させ、森林の保育と更なる豊かな森林の創造
  - 3 地域における雇用創出と林業後継者の育成
  - 4 林業に携わる方々の共存・共栄を指向する

### (2) 有限会社佐藤製材工業所 (米沢市)

代表取締役 佐藤 俊治

米沢市の(有)佐藤製材工業所と申します。この度、山形県木材産業協同組合に加入させていただきます。昭和44年設立以来、製材業と一般建築業を中心に行っております。

近年の木材・製材業は、森林や人口の減少、または少子高齢化等などに伴い、様々厳しい状況になってきています。

本来木材は、地球にやさしい環境資源で、温暖化防止にも貢献できるものです。世の中の変化の中、これからの社会ニーズにあった、環境にやさしい木質バイオマス発電や森林を健全に保つための「合法木材」等についてももしっかり考え、対処していかねばいけないと思うところです。

まだまだ分からないことが多くありますが、今後、木産協組合員の皆様よりご指導をいただき、勉強してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 5 トピック

### 木造住宅戸数等の中期予測 (株商工組合中央金庫)

月刊「木材情報」15年4月号に掲載された木造住宅の都道府県別中期予測で、山形県の予想数字が目をついたので紹介する。

山形県は漸減傾向を辿る見込みとなっており、次第に人口減少幅が大きくなり新築住宅に対する需要も大きく減退する。2029～2033年には800戸台になると予想されている。

木材業界は、後15年でこの状態を受け入れざるを得ないことになり、次の一手を考える待った無しの時代に差し掛かっている。組合員の皆様はどう考えますか。

年度	住宅 着工戸数	内 木造住宅
2008	6,635	4,784
2013	4,731	3,894
2018	5,223	4,346
2023	2,517	2,075
2028	1,346	1,099
2033	814	658

## 6 お知らせ、会議・イベント等

### (1) JAS検査員研修

日時：平成27年10月8日(木)～9日(金)

会場：福島県郡山市

内容：検査員業務研修会(JAS制度改正内容、新規認定申請業務手順、実技実習等)

その他：本県からは横山検査員等が出席予定。

### (2) 第25回山形県林業まつり

日時：平成27年10月17日(土)11時～16時、18日(日)9時～15時

会場：天童市 山形県総合運動公園特設駐車場

内容：例年同様、木材・特産品展示販売、各種体験教室、アトラクション等

(今年より、「青空木工教室」は小学生以下が対象となります)

17日：11時「林業年次大会」、12時「農林水産祭開会式」、12時20分「上棟式(餅まき)」、12時50分「酒田きやり唄」上演、14時「木工コンクール表彰式」「わくわく樹の探検隊」等、16時終了。

18日：10時・13時「山木屋太鼓(福島県)」上演、11時・13時半「けん玉プロジェクト」、14時「上棟式(餅まき)」10時半・13時「わくわく樹の探検隊」等、15時終了。

### (3) 木産協役員会の開催

日時：平成27年10月22日 15時～

会場：山形市内催事場

内容：本年度事業の進捗状況及び課題

その他：役員の方には、別途御連絡を差し上げます。

### (4) やまがた環境展 2015 (木産協も出展)

日時：平成27年10月24日(土)10時～17時～25日(日)10時～15時

会場：山形市 山形ビッグウイング

内容：けん玉教室、木育積み木遊び、木材クイズ、建前餅まき等(木材関連)

### (5) 第50回全国木材産業振興大会

日時：平成27年10月29日(木)～30日(金)

会場：三重県津市 三重県総合文化センター

内容：木材産業功労者として、松田喜美男氏(松田木材)、相田吉則氏(アイタ工業)が受賞予定。沖田純夫氏が退任団体長表彰予定。阿部理事長等が出席予定。

### (6) 山形県地域材利用推進協議会

日時：平成27年11月5日(木)15時～

会場：山形市内催事場

内容：木造住宅地域材利用拡大事業での取り組み結果等について評価・検証する。

その他：委員の方には、別途御連絡を差し上げます。

### (7) 木産協先進工場等視察研修会 (予定)

日時：平成27年11月12日(木)～13日(金)

会場：福島県塙町、協和木材、南陽市文化会館等

内容：県内に進出する協和木材の製造技術及び素材入荷システムや国内最大級の木造文化施設に関する理解を深める。また、遠距離になることから宿泊研修とし、情報交換会等も実施する。中小企業中央会事業等の取組によりバスをチャーターしますので、多くの組合員がご参加下さる様ご案内します。

## 7 8月期の住宅着工状況

8月期は500戸で対前年比139%、うち持家は276戸で124%、貸家は195戸で217%、分譲は28戸で62%、木造率89%、累計比(1~8月)3,492戸で119%と好調を持続。昨年度の反動もあるが、中長期的には大幅に減少することが予想されており、好調の時にこそ先々を考える姿勢が大切。

### 1 県内新設住宅着工戸数(平成27年8月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造	在来軸	プレハ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
26.1~7	2,564	1,483	785	75	221	2,409	155	2,104		1,602	76	426
8月	361	223	90	3	45	357	4	305	84.5%	245	7	53
9月	377	203	127	0	47	358	19	332	88.1%	223	5	104
10月	395	199	144	3	53	384	11	353	89.4%	227	7	119
11月	465	238	179	2	46	445	20	377	81.1%	261	7	109
12月	388	183	180	0	25	382	6	326	84.0%	194	4	128
27.1月	249	125	74	0	50	248	1	203	81.5%	141	8	54
2月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
3月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
4月	452	302	105	1	44	446	6	425	94.0%	288	11	126
5月	471	313	102	0	56	465	6	417	88.5%	330	11	76
6月	576	358	123	1	94	574	2	448	77.8%	322	15	111
7月	511	289	174	6	42	507	4	431	84.3%	305	7	119
8月	500	276	195	1	28	486	14	444	88.8%	267	8	169
対前月	97.8%	95.5%	112.1%	16.7%	66.7%	95.9%	350.0%	103.0%	-	87.5%	114.3%	142.0%
対前年同月	138.5%	123.8%	216.7%	33.3%	62.2%	136.1%	350.0%	145.6%	-	109.0%	114.3%	318.9%
26.1~当月計	2,925	1,706	875	78	266	2,766	159	2,409	82.4%	1,847	83	479
27.1~当月計	3,492	2,135	959	10	388	3,453	39	3,008	86.1%	2,081	87	840
対累計前年	119.4%	125.1%	109.6%	12.8%	145.9%	124.8%	24.5%	124.9%	-	112.7%	104.8%	175.4%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(平成27年8月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計	市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
<b>県計</b>	<b>500</b>	<b>3,492</b>	<b>138.5%</b>	<b>119.4%</b>	<b>3,008</b>	大蔵村	1	5	-	71.4%	5
山形市	88	897	84.6%	109.9%	732	鮭川村	2	5	200.0%	500.0%	5
上山市	20	83	285.7%	180.4%	81	戸沢村	0	3	0.0%	100.0%	3
天童市	29	250	170.6%	113.6%	224	<b>最上地域</b>	<b>20</b>	<b>110</b>	<b>250.0%</b>	<b>113.4%</b>	<b>107</b>
山辺町	4	47	100.0%	88.7%	45	米沢市	104	438	176.3%	145.0%	335
中山町	15	43	1500.0%	390.9%	43	南陽市	12	106	40.0%	101.0%	103
<b>東南村山</b>	<b>156</b>	<b>1,320</b>	<b>117.3%</b>	<b>115.2%</b>	<b>1,125</b>	高島町	15	57	375.0%	129.5%	56
寒河江市	19	167	100.0%	183.5%	131	川西町	2	17	40.0%	41.5%	17
河北町	13	62	433.3%	151.2%	57	<b>東南置賜</b>	<b>133</b>	<b>618</b>	<b>135.7%</b>	<b>125.6%</b>	<b>511</b>
西川町	1	7	-	50.0%	7	長井市	12	89	120.0%	74.8%	75
朝日町	0	7	-	33.3%	6	小国町	3	9	-	112.5%	9
大江町	2	15	20.0%	107.1%	15	白鷹町	6	32	200.0%	177.8%	31
<b>西村山</b>	<b>35</b>	<b>258</b>	<b>152.2%</b>	<b>142.5%</b>	<b>216</b>	飯豊町	2	9	40.0%	40.9%	9
村山市	15	78	500.0%	288.9%	74	<b>西置賜</b>	<b>23</b>	<b>139</b>	<b>127.8%</b>	<b>83.2%</b>	<b>124</b>
東根市	33	283	235.7%	172.6%	250	<b>置賜地域</b>	<b>156</b>	<b>757</b>	<b>134.5%</b>	<b>114.9%</b>	<b>635</b>
尾花沢市	3	18	-	163.6%	16	鶴岡市	34	284	154.5%	95.9%	269
大石田町	0	33	0.0%	660.0%	8	三川町	1	11	100.0%	91.7%	11
<b>北村山</b>	<b>51</b>	<b>412</b>	<b>283.3%</b>	<b>199.0%</b>	<b>348</b>	庄内町	21	51	420.0%	89.5%	43
<b>村山地域</b>	<b>242</b>	<b>1,990</b>	<b>139.1%</b>	<b>129.7%</b>	<b>1,689</b>	田川	56	346	200.0%	94.8%	323
新庄市	14	75	466.7%	121.0%	72	酒田市	24	271	70.6%	124.3%	237
金山町	0	5	0.0%	125.0%	5	遊佐町	2	18	200.0%	34.6%	17
最上町	0	3	0.0%	75.0%	3	鮎海	26	289	74.3%	107.0%	254
舟形町	1	6	100.0%	60.0%	6	<b>庄内地域</b>	<b>82</b>	<b>635</b>	<b>130.2%</b>	<b>100.0%</b>	<b>577</b>
真室川町	2	8	-	133.3%	8						

注:累計は平成27年